

# 基盤環境委員会報告

## 付託案件審査報告



橋本委員 松本委員 谷澤委員 水門委員  
小井戸委員 佐竹委員長 山腰副委員長 今井委員

### 議第46号 財産の取得について

消防ポンプ自動車CD  
— 1型2台を購入しよ  
うとするもの。

○消防ポンプ自動車2  
台の取得価格  
3192万円  
○取得の相手方  
岐阜ヤナセ株式会社  
高山営業所

#### II 審査内容 II

【問】契約の経緯は

【答】指名競争入札にて、

9社を指名し、5社が  
辞退して4社で入札を  
行った。

【問】4社のうち市内に  
本社があるのは。

【答】1社である。また、  
指名した9社のうち5  
社が市内に本社がある。

【問】消防団車輛の配備  
状況と今後の更新計画  
は。

【答】消防ポンプ自動車  
50台、小型ポンプ動力  
積載車78台で計128  
台である。今後は整備  
計画に基づき更新予定  
である。

【問】現在更新をすすめ  
ているCD型とBD型  
の配備状況は。

【答】今回2台をCD型  
に更新することにより、  
BD型は残り9台とな  
り、平成33年までには  
すべてCD型にする計  
画である。

【問】整備計画における  
更新のポイントは。

【答】緊急車輛のため、  
走行距離でなく21年か  
ら22年間の使用で更新  
することを基本として  
いる。

【問】今回更新する車輛  
は何年使用しているの  
か。

【答】上宝支団第一分団  
第二班、本郷班は平成  
4年式で21年間使用し  
ている。また、高山支団  
第一分団第三班、山王  
班車輛についても、平  
成4年式で21年間使用  
している。

以上のような審査の  
結果、議第46号は、全員  
一致で可決すべきもの  
と決しました。



購入される同型の消防ポンプ自動車

### 議第47号 財産の取得について

高規格救急車1台と救  
命処置用資器材一式を

購入しようとするもの。

○高規格救急車1台・  
救命処置用資器材一  
式の取得価格  
2960万4530  
円

○取得の相手方  
丸新消防株式会社

【問】契約の経緯は。

【答】高規格救急車と救  
命処置用資器材の入札  
は別々に行った。高規  
格救急車は指名競争入  
札にて行い、指名業者  
9社のうち7社が辞退  
し、2社で入札を行っ  
た。また、救命処置用資  
器材も指名競争入札に  
て行い、指名業者11社  
のうち9社が辞退し、  
2社で入札を行った。

【問】高規格救急車を落  
札した会社は、消防資  
器材を取り扱う会社で  
あるが、メンテナンス  
や保守点検などに不都  
合が生じないか。

【答】点検整備は車輛業  
者に依頼しており、支  
障はない。

【問】救急車の配備状況

と今後の配備予定は。

【答】常時使用している  
高規格救急車9台と予  
備車輛3台の合計12台  
の救急車を所有してい  
る。整備計画に基づき、  
15年を目途に順次更新  
している。

【問】今回更新される高  
規格救急車は、清見出  
張所へ配備する予定で  
あるが、現在使用して  
いる車輛の対応は。

【答】清見出張所の車輛  
は平成9年式で16万キ  
ロを走行しており、今  
後は上宝分署の予備車  
輛として使用する。

以上のような審査の  
結果、議第47号は、全員  
一致で可決すべきもの  
と決しました。



購入される同型の高規格救急車